






①事業実施報告書詳細

「時間」「場所」「概要」「活動記録（写真）」「対象者の反応」が分かれば様式不問
事業実施報告書詳細＜例＞

学校名 下名小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1	学校	<p>①写真についての講座 写真家の方の話を聞き、プロの構図のつかみ方や、アップとルーズの違いなどについてくわしく学習するとともに自分たちの写真を客観的に見るができるようにする。</p>		<p>写真を撮るとき、9等分してその交差しているところに、自分の伝えたいことを入れるということがわかった</p>
2	学校	<p>②ポスターの分析 身近なポスターや観光グラビア雑誌等の分析を行い、写真が切り取られて表現されていることや、撮影時の意図が大きく反映されていることを知り、写真への興味だけでなく、取材したときのインタビューをどのようにキャプションに生かすかについて学習する。</p>		<p>写真を撮っている人や写っている人の思いを考えて、キャプションが書かれていることがわかった。</p>
2	校区にあるレストラン、ホテル	<p>③写真の撮影と取材 学習したことを生かしながら、各自のテーマに沿った写真を撮るとともに、仕事についての取材を行い、被撮影者の思いを引き出す。</p>		<p>知らないことをいろいろな人が教えてくれてうれしかった。インタビューの仕方がわかった。写真を何回もとったから、写真をどうしたらきれいに見えるかなどを工夫してとることができた。</p>

4	学校	<p>④写真展パネル製作</p> <p>その方のよさが感じられる写真を選び、キャプションを考え、写真パネルにする。</p> <p>インタビューした内容を文章にして、グラフィック風に仕上げる。</p>		<p>写真を撮るとき、9等分してその交差しているところに、自分の伝えたいことを入れるということがわかった。</p>
2	校区にある道の駅	<p>⑤写真展の開催</p> <p>地元の道の駅への常設展示を行い、観光客に対し作品の説明を行い、コミュニケーション力を高める。</p>		<p>写真展では、多くの人と接することができ、外国人ともふれあうことができたので、いい経験になった。自分の写真を人の前で発表することが、最初は恥ずかしかった。だけど自分の写真をほめられたときは、「やって良かったなあ」と思った。</p>

②学習指導案（計画段階の指導案。（修正版でも可））

指導にあたり作成された書類で、下記の項目が含まれているもので構いません。

様式は不問。下記は一例。その他授業実施に作成された資料等添付してください

学習指導案（計画段階の指導案）〈様式不問・・・例〉

<p>単元名 (全11時間)</p>	<p>地域の魅力を伝える写真展～笑顔の秘密～</p>
<p>学習のねらい</p>	<p>写真という身近な手段を使い、地元にある景色だけでなく、そこで生活している方々へのインタビューを通して、ふるさとの良さを再発見する。</p>
<p>学習内容</p>	<p>1 写真やポスターをくわしく見てみよう（2時間）</p> <div data-bbox="438 638 877 963"> </div> <div data-bbox="893 638 1141 963"> </div> <p>2 実際に取材し、写真をとってみよう（2時間）</p> <div data-bbox="422 1030 885 1377"> </div> <div data-bbox="893 1030 1356 1377"> </div> <div data-bbox="438 1400 877 1736"> <p>第 回フィールドワーク計画書</p> <p>氏名</p> <p>実施日 月 日 ()</p> <p>場 所</p> <p>目 的</p> <p>活動内容・計画</p> </div>

3 取材したことをもとにキャプションを考えよう（4時間）



チェックシート
<input type="checkbox"/>
1 よみやすき
○フォントの種類
○色
自己満足になっていないか！自分が楽しむためのものになっていないか！
好みではあるが、みんなに受け入れられるかどうかは別
<input type="checkbox"/>
2 文章のまちがいはないか
○読点の場所
○文章がつながりすぎてないか
○せつぞくし（しかし、だから、そのため、そして）はおかしくないか
<input type="checkbox"/>
3 写真の顔
○トリミングの位置
○視線は・・・
○本人も満足する顔か
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
以上をふまえて、アドバイスを書こう

4 写真展を開き、お客さんに説明しよう（2時間）



5 振り返りをしよう（1時間）

参考資料

カタログ，地域のパンフレット，写真家の方の資料

準備品

デジタルカメラ，パネル

実施場所等

学校，地域の土産物屋，レストラン，道の駅，観光施設

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

1 メディアリテラシーとしての成果

写真撮影を通じて、メディアリテラシーを学習できる。特に、発信する側としての体験を重ねることで、身近な表現物や、メディアから発せられる情報について、それらが発信者の意図が反映されたものであるということを意識するようになる。

2 キャリア教育としての成果

写真家との交流はもちろん、働いている人をしっかり取材したり、イベントを通じて様々な仕事に従事している様子を見たりして、仕事について考えるきっかけとなる。

3 ふるさとを大切にすることを育む

自分のふるさとの歴史と伝統、自然の価値について、堂々と語れる人間となり、他地域の文化を大切にできる優しさあふれる人になれる。

4 コミュニケーション力の向上

子供達にとっては、自分たちで素材を取材し、撮影することを通して、地元の方や観光客の方とふれあい、コミュニケーションの大切さを自覚し、進んで声をかけようとする。

5 地域のお年寄りの生きがい

子供達が企画し、考え、自らが撮影し、運営する写真展は、かつて学校が文化の発信の中心地だった頃の姿を思い出させ、わが孫のようにいつも子供達をかわいがってくださるお年寄りの喜びや自信、生きがいにつながる。

(2) 実施にあたり苦労した点

子供たちがこれからの社会を生きていくために必要な能力を考えたとき、ICTを使うことはもちろん、メディアが発する情報としっかり向き合い、自分で考えることが大切であると思う。デジタルカメラは、子供たちにとってあまりにも身近なものであるが、実際のところいろいろな場面で何枚も撮影しているため、表現したいことや、相手への伝わり方などを意識していない。

そこで、自分たちが撮影した写真をトリミングすることで、主役が変わったり、テーマが変わったりすること等を体験しながら、メディアの持つ特性を理解する。ここでは、標準的な子供用アプリを使い、大きさの決まったフレームの中に、写真の大きさを変えて配置する方法で、子供たちにトリミングの意味とやり方を学習させる。一般的なトリミングの手法とは異なり、縦横比を考えることがいらないため、トリミングの初期指導としては、よい方法と言える。

(3) 児童の反応

子供達にとっても大変身近な道具であるデジタルカメラであるが、観光シーズンである夏休みの間に写真展を開いたことで、地域の方だけでなく、全国の観光客に対して大きなアピールができた。写真展を見た観光客の方々から、「子供達すごい！働いている人の笑顔が上手に撮れています。」というコメントをもらったことを子供たちに披露すると「写真を何度も取り直したり、インタビューをキャプションにしたりするのが大変だったけど、こんなにほめてくれて、うれしい」という感想を漏らしていた。

子供たちにとっての普段と変わらない景色や、いつも学校に来てくれる地域の方々との交流は、意識しないとその良さや価値を見いだせないものであると言えるが、今回の取り組みでは、写真という身近な手段を使うことで、実際にその場所に訪れた人や、地域のお年寄りなどに子供達の活動を紹介することができただけでなく、小規模校ならではの小回りの利いた活動により、子供達の成長や生きる力の育成という視点での成果が見られたように思える。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

総合的な学習の時間を利用したので、複数の教員が同じ課題に対し授業計画を立てたり、実践上の進捗を相談して行うことができた。地域の人との関わりにおいて、はじめて知ることも多く、地元をより詳しく知ることに繋がった。

また、学校全体のイベントとしての写真展は、低学年の児童を招待して行い、次年度の活動への橋渡しができたように思う。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

本校は、これまで地域の施設やお年寄りと頻繁に交流をしてきたが、今回のように写真という別の視点を入れることで、活動の幅が広がったと思われる。また、作品が自己満足にならないようにするために、絶えず外部評価を取り入れることも大切である。

また、観光施設への取材などでは、子どもたちの個人情報を守りつつ、子どもたちの表現の場としての位置づけを、保護者に理解いただくことが大切だと思われる。